

7. 郷土の大地

(1) 地形

私たちの住む大地の表面は、凹凸があり、その高いところが山である。山は大きさも形もさまざまである。

山は、地下から噴出した溶岩や火山灰が積もって出来たものが多く、美しい形をした山（火山）が多い。高い山が連なる山脈といわれる山々は、ほとんどが海底に厚く積もって出来た地層が、強い圧力による地殻変動を受けて、曲がったり、くいちがったりして、その結果山脈ができたと考えられている。

◇強い圧力による地殻変動を受けることを（造山運動）とよんでいる。

■造山運動というのは、大きな地殻変動で、地層が褶曲（波状に曲がること）したり、断層（くいちがい）がおきたりして山ができること。

ですから、山の出来方には、火山運動と造山運動がある。下郷町は、こうした山の合間にある町である。

→写真は、下郷町の南に位置する一番高い山三倉山（1854.9m）の美しい姿である。

高山植物もある。



←下郷町の北部の江川地区には、小野岳（1383.4m）がどんと構えている。

毎年6月には、山開きが実施されている。

皆さんも挑戦してみてください。はいかがですか。

登って
みたいな？
頂上からは
磐梯山や
猪苗代湖も
見えるん
だって。

